

## 新型コロナウイルス感染症にかかる対応について

教育委員会における新型コロナウイルス感染症にかかる対応について、今後予定しております主なものを報告いたします。

### 1. 小中学校の感染症対応について

#### (1) 実施内容

感染拡大防止用備品等（マスク、消毒液、健診用器具滅菌機等）の購入等

※令和2年6月25日の文教福祉常任委員会で報告しました実施内容と同様ですが、京都府が特定警戒都道府県であったことから、国の補助金が加算されることとなりましたので、その加算分を追加するものです。

#### (2) 対象施設

小学校 22校、中学校 10校

#### (3) 配分額等

国の基準により、1校あたり107万円～214万円を各小中学校に配分する予定です。

※既に前回の補正予算分は配分済み。

### 2. 小中学校における学習環境の整備

#### (1) 学習支援ソフトの導入

児童生徒1人1台端末の授業等での有効活用を図るため、学習支援ソフトを導入する予定です。

・ライセンスにかかる費用 年1,100円/1人 5年間

(2) 大型提示装置の整備

タブレット端末を使った授業を展開するため、中学校の大型提示装置を追加整備する予定です。

- ・整備にかかる費用 10校 11,455千円

3. 図書館の感染症対策事業について

(1) 図書除菌機の設置

図書館の図書を安心してご利用していただくため、各図書館に図書除菌機1台を設置する予定です。

- ・設置にかかる費用 3館 4,035千円

(2) 館外返却ポストの設置

来館者の密集回避及び分散を目的とし、図書館に来館せず図書の返却ができるよう、市役所庁舎及び6か所の予約図書配本所に返却ポストを設置する予定です。

- ・設置にかかる費用 7か所 1,321千円

(3) 電子書籍の導入

来館者の密集回避及び分散を目的とし、図書館に来館せず自宅等からスマートフォンやタブレット端末等を使って閲覧ができる電子書籍を導入する予定です。

①対象者

市内在住、在勤、在学で図書貸出券の発行を受けた人を対象とします。

②利用申込み

電子図書館用のID・パスワードの発行申込みが必要となります。

- ・ライセンスにかかる費用 成人書、児童書 12,000千円